

『低コスト化と契約取引によるトマトの産地改革』

＜ 越冬作型と契約取引推進による大きな成果 ＞



【産地名 はが野農業協同組合（栃木県）】

産地データ（H16年）

対象品目名	トマト
産地の名称	はが野農業協同組合
作付面積	29ha
主要作付品種	ハウス桃太郎、麗容
作付農家戸数	80戸
生産量	3,459t/年間
出荷(販売)量	3,459t/年間
販売額	931百万円/年間
出荷(販売)先	東京中央卸売市場 カゴメ ワイフーズ

1. 産地の概要と特徴及び課題

当地域は、栃木県の南東部に位置し、東には八溝山地、西には鬼怒川が流れており、水田が多く、冬の日照時間が多いことから園芸作物の栽培が盛んであり、栃木県内では比較的温暖な農業地帯です。

当地域の農業は、米麦・園芸・畜産等を中心とした複合経営が行われており、園芸の主な品目は、いちご、トマト、なすとなっています。

特にトマトはいちご、なすに次ぐ園芸品目として、安全・安心へのこだわりと品質において、市場・消費者から高い評価と大きな期待が寄せられています。

今後課題となるのは、低コスト耐候性ハウスを活用した越冬作型の安定多収技術の確立による低コスト化の推進と安定した契約取引の拡大です。

対象品目の作型（生育ステージ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	割合
作 型 別 概 要	(越冬作型) ×—————×————— 播種 定植 収穫期 (最盛期)												麗容 58%
	(冬春作型) ×—————×————— 播種 定植 収穫期 (最盛期)												麗容 30%
	カゴメ契約栽培(越冬作型) ×—————×————— 播種 定植 収穫期 (最盛期)												ラント レット 12%

2. 産地改革計画の概要

策定対象品目名	トマト	該町 当村 市名	真岡市、二宮町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町
策定年月	平成14年5月		
策定主体名	はが野農業協同組合		

(1) 計画の全体概要(要旨)

生産コストを低減する等低コスト化、流通コストの低減と安定取引の実現のための契約取引に取組み、産地強化を図ります。

そのために、高軒高ハウスの導入、集出荷施設整備、糖度調査の実施、カゴメとの契約取引栽培を実施します。

(2) 具体的な目標

低コスト化タイプ	生産コストの削減168円/Kg 127円/Kg
	流通コストの削減71.1円/Kg 58.5円/Kg
契約取引タイプ	契約栽培0t 900t

3. 産地改革計画の実行状況とその成果

〔実行状況〕

低コスト耐候性ハウス(高軒高)ハウスの導入(合計350a)により作付面積が12%増加し、より単収の多い越冬作型の栽培が可能となり収量が増加した。また、生産技術検討会の開催等により栽培技術が向上し、結果として低コスト化が進んだ。

生産コストの削減 168円/kg 162.7円/kg

低コスト耐候性ハウスの単収 20t/10a(従来の3割増)

通い容器での販売開始。(年間800t/20%)

契約栽培をカゴメ・イトーヨーカドーの2社と実施(375a/13%)

流通コストの削減 71.1円/kg 66.8円/kg

契約栽培 0t 271t

・契約栽培のカゴメ・ラウンドトマトについて順調な増反がなされてきている

・平成14年度 0a 平成15年度 189a 平成16年度 285a

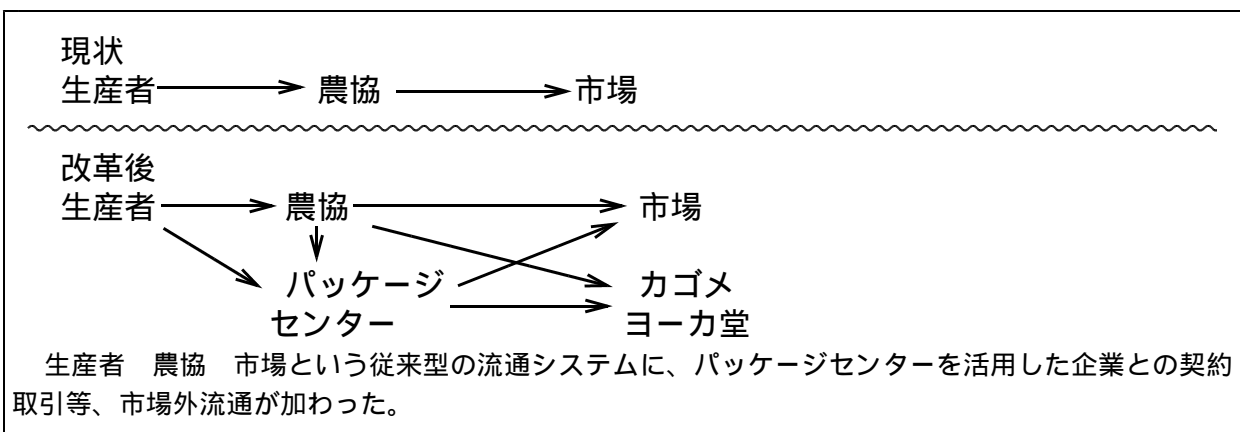
〔地域への効果〕

低コスト耐候性ハウス導入に伴う雇用が生まれた

平成14年度 284a・11棟

平成16年度 73a・3棟

構造改革後の生産・出荷・販売システム概念図



産地改革に係る補助事業等の実施状況（平成14年度以降）

国庫補助事業

年度	事業名	事業主体名	事業内容	事業費	国庫補助金
14	輸入急増農産物対応特別対策事業	はが野農協	低コスト耐候性ハウス、養液栽培施設7棟2.24ha	326（百万円）	155（百万円）
			産地改革協議会の開催(1回)、栽培講習会の開催(1回)	0.2（百万円）	0.1（百万円）
15			コンテナ選果ライン 通い容器 利用量2900t	55（百万円）	26（百万円）
			集出荷貯蔵施設（パッケージセンター）利用料700t	175（百万円）	83（百万円）
16			産地改革協議会の開催(1回)、栽培講習会の開催(1回)	0.2（百万円）	0.1（百万円）
			低コスト耐候性ハウス、養液栽培施設3棟0.73ha（建設中）	120（百万円）	57（百万円）
			産地改革協議会の開催(1回)、栽培講習会の開催(1回)	0.2（百万円）	0.1（百万円）
14	野菜構造改革促進特別対策事業	JAはが野	高所作業台車の導入 台車21台充電器12台	7（百万円）	3（百万円）
16		JAはがのトマト部会	国産マルハナバチ、飛散防止ネットの導入	10（百万円）	5（百万円）

関連事業（取組等）

年度	事業（取組）名	事業主体名	事業（取組）内容	事業費 （百万円）	うち補助金 （百万円）

4. 今後の課題とその取組方向

低コスト化、契約取引推進とともに、一定の成果をみたものの、目標としたレベルまでは達しておらず、今後は、それぞれの取組を検証し、目標に達するように検討していきたいと考えています。

また、後継者（新規栽培者）確保のため、積極的な事業を実施し、規模拡大の推進を図りたいと考えています。また、越冬タイプでの安定した収量確保のために、次の3点を実施する計画を持っています。

既存のハウスを高軒高へ改築（軒の高さ1mアップ）とする。

養液栽培は閉鎖型システムに更新し、環境に配慮した農業を实践する。

さらに、安定した契約取引の推進のため

産地によりメリットのある契約取引の検討

適正な契約取引の数量や契約のあり方の検討

以上のことを進め、越冬作型を拡大し周年体系での安定した契約取引を実現し、企業的農家経営の育成を図り、産地を強化したいと考えています。

【特記事項】

--

産地改革・取組フォト



<写真 1> マルハナバチ



<写真 2> 作業台車(ハイカート)による栽培管理作業



<写真 3> パッケージされたカゴメこくみトマト



<写真 4> 高軒高ハウス

<県・問い合わせ先>

栃木県芳賀農業振興事務所企画振興室

担当係名(氏名)...秋山 初江

住所: 栃木県真岡市荒町5197

TEL: 0285-82-4438

<農協・問い合わせ先>

はが野農協営農部

担当係名(氏名)...仁平 誠

住所: 栃木県真岡市八条95

TEL: 028-83-7625